

# 湖北圏域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会 第1回協議会 報告

平成19年11月1日（木）

10:00~12:00

湖北地域振興局 1階会議室

## 1. 開 会

去る11月1日（木）に第1回湖北圏域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会が開催されました。この協議会は、湖北地域振興局管内の2市6町が、国・県と共に専門的な学識経験等に基づく助言を得ながら、姉川・高時川等の洪水や土石流危険渓流等からの土砂災害による被害を回避・軽減するためのソフト対策を協議し、自助・共助・公助のバランスのとれた地域防災力の再構築を図るものであります。



## 2. 議 事

### ①協議会の発足、会長の選出

11月1日（木）をもちまして、湖北圏域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会が発足致しました。会長には、長浜市の加藤誠一副市長が選出されました。

### ②ビデオ上映（水害発生その時！～命を守る日頃の備え）

議事に先立ち、2004年の新潟・福島豪雨で水害に見舞われた新潟県三条市の現地取材を交え、「自分の身を守るのは自分自身」という自助の考え方が防災の基本であることを訴えたビデオを鑑賞しました。自助の精神は地域防災力を考える上で非常に重要なものであり、今後の協議会を進めるにあたり大いに参考になります。



### ③第1回、第2回担当者会議の報告

協議会に先立って行われております担当者会議（第1回：平成19年6月1日、第2回：平成19年8月31日）の概要について庶務（事務局）より説明いたしました。担当者会議は各自治体の担当で構成されており、これまでの議論で以下の大きく2つの項目を当面の検討項目（案）として提案いたしました。

- ・ 市町界を超えた広域的な避難計画の検討  
（避難勧告の共通した基準作り、広域ハザードマップ）
- ・ 自主防災組織の活動強化支援の検討  
（地域防災力アンケート調査を受けて、課題および対策を検討）

#### ④質疑応答・意見交換

これらの検討項目（案）について、各委員から様々な建設的な意見が出ました。以下に、主な意見を箇条書きで示します。

##### 【各委員からの主な意見】

- 地域防災力のアンケート調査は単に調査するだけでなく、各自治会に危機感を持って回答頂けるような何らかの工夫を施す必要がある。
- 「水害・土砂災害から人命を守るという意味で、一部の地域だけでなく、どのような場所が防災上重要であるのか？」といった、広い視点を持つことが重要である。
- 本協議会を進めて行く上で、すでに設置されている流域治水検討委員会や個別流域の協議会を念頭に置いた議論を進めていくべきである。
- 湖北圏域 2 市 6 町が共通の課題として認識し、主体となって国や県を交えながら議論することが重要である。
- そもそもこの協議会は議論を行う場である。行政の垣根をとった形で、自分たちの問題として、活発な議論をして欲しい。

意見の多くは、今後検討を進めていく上で大前提となるものばかりであり、各委員は改めて協議会の本質について共通認識できたと思います。

また、平成19年度の検討項目としては、担当者会議で挙げた2項目について、上記の共通認識のもとに決定されました。

##### 【平成19年度の検討項目】

- 市町界を超えた広域的な避難計画の検討  
(避難勧告の共通した基準作り、広域ハザードマップ)
- 自主防災組織の活動強化支援の検討  
(地域防災力アンケート調査を受けて、課題および対策を検討)

### 3. 閉 会

全国的に洪水予測システムの構築や浸水想定区域図、洪水・土砂災害ハザードマップの公表といった対策が行われているものの、それらの情報を使って地域住民の命を守るにはどうすれば良いかという次ステップについては多くの課題を残しています。これらの課題に対してどのように対応していくべきかということ、各自治体を中心となり、国や県と共に検討していきたいと考えています。

今後は承認された検討項目について共通認識のもとに検討を行い、今年度末には何らかの成果あるいは方向性を示していけるよう努力していく所存であります。